



間伐材を搬出する重機

より、原木の安定供給体制の整備が課題と認識している。

問 質問事項については、本事業の方針が決定次第、県や事業実施者、関係機関で調査研究し、必要に応じて地元等と十分協議を重ね取り組んでいく。用地提供は、過去の取得経緯を踏まえ、事業実施者と協議し、議会と相談する。

◆市の主体性が問われている

問 バイオマス発電の成功は、県内初集中型製材工場と併せ、原木安定供給体制整備の成否にかかっている。素晴らしい構想だが実現は容易ではない。受け身でなく主体性のある取り組みを要望する。(青柳)

◆バイオマス資源の活用を

問 塩尻市の林業創生・長野プロジェクト(仮称)への関わり方はどのようなものか。また、市内の森林整備と間伐



屋根に設置された太陽光パネル

太陽光発電の普及を

◆太陽光パネル設置補助金

問 本年度予算約2千万円の枠がすでに終了し、本定例会

材などバイオマス資源の有効活用を進めるチャンスではないか。考えはどうか。(柴田)

答 時を得たこのプロジェクトにより、林業で生活できるような林業に再生を図るチャンスであると考えている。

◆官行造林への対応は

問 榑川地区の官行造林への市としての支援策は。(古畑)

答 林野庁中部森林管理署との協議や、地元検討会等への助言や情報提供等の技術支援をしていく。

答 庁舎の大規模改修工事に併せて、前向きに検討する。

問 本庁舎の取り組みは。(青木)

◆太陽光発電普及拡大を

問 太陽光発電は市民発の発電事業。補助事業の見直しを検討し、市民主体の事業モデルが生まれることに期待し、機会づくりや企業サポート、協働の取り組み等支援したい。

◆太陽光発電にファンドを

問 太陽光パネルを初期投資なしで設置できるファンドの立ち上げを促して。(宮田)

答 太陽光発電は市民発の発電事業。補助事業の見直しを検討し、市民主体の事業モデルが生まれることに期待し、機会づくりや企業サポート、協働の取り組み等支援したい。

◆太陽光発電にファンドを

問 今後、予想を上回る場合は、設備設置期間、財政状況を踏まえ検討する。

答 今後、予想を上回る場合は、設備設置期間、財政状況を踏まえ検討する。

◆太陽光発電にファンドを

問 太陽光パネルを初期投資なしで設置できるファンドの立ち上げを促して。(宮田)

答 太陽光発電は市民発の発電事業。補助事業の見直しを検討し、市民主体の事業モデルが生まれることに期待し、機会づくりや企業サポート、協働の取り組み等支援したい。



情報発信を行う観光センター



奈良井宿 お茶壺道中

観光資源を活かせ

◆観光資源の情報発信状況

問 強い告知活動は。(西條)

答 駅前広場など研究する。

問 豊富な観光資源の利活用についての考え方は。(西條)

答 二本柱「奈良井宿・木曾漆器」と「ワイン・そば」以外でも資源を結びつけていく。

問 「おひさま効果」が消えないうちに井上真央さんを観光大使に任命し観光事業の振興を図ってはどうか。(西條)

答 現状考えていない。

◆太陽光発電補助金の内容と家庭への普及状況は。(青木)

問 今回100件分1千500万円の補正を組む。普及率は58.7%。